



逃げる2月

2月は「逃げる」とはよく言ったもので、あっという間に2月も終わり、残すところ今年度も3月のみとなりました。インフルエンザの流行やコロナ10波もある中で、今月は大きな感染もなく過ぎましたが、どの学年もぼつぼつとお休みがあり、なかなか全員そろわることができませんでした。しめくくりの3月は元気に登校できる日が増えることを祈るばかりです。

さて、3日の学習発表会は大勢の方々にご参観いただきありがとうございました。それぞれの学年が1年という長いスパンの中で探究してきたプロジェクトをまとめたものを見ていただきました。生活科・総合的な学習の時間（西津小では「いさりび学習」と呼んでいます）は「課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現」という探究活動を繰り返す中で、知識・技能や思考力・判断力・表現力、そして学びに向かう力などを身につけていきます。（生活科は体験することを重視しています）これを、ふるさと西津を題材に活動してきたわけですが、学校評価で9割を超える子どもたちが「ふるさと西津をさらに好きになった」「西津をよりよくするために自分にできることを考え行動した」と答えてくれています。一方で「毎年同じ内容で新鮮みに欠ける」というご意見もあります。これについては、同じテーマであっても取り組む学年が毎年変わることで、次年度に取り組む活動に見通しが持て楽しみにしている子どももいることなどから、ふるさと西津からふるさと小浜に活動の幅を拡げたり、他校とふるさと自慢の交流をして学ぶ視点を拡げたりするなどの工夫を加えていく予定です。

残り一ヶ月。どんな姿で学年を終え、次の学年に向かうのか。学校では意識させてまとめの3月を過ごします。ご家庭でも励ましの声かけをお願いいたします。



2年生「伝えたいな、西津のすてき！」



5年生「西津をしあわせに」



なわとび大会開催

22日（木）になわとび大会を行いました。8分間の持久跳びと一人1種目の技跳びにチャレンジしました。おもに3学期に入ってから朝運動、業間、体育の時間に練習してきましたが、特に2月に入ってから体育館のジャンピングボードがバンバンなったり、メドレーのミュージックが毎時間流れてきたりして、練習に熱が入っていました。

当日は、午前中に1・3・5年生と2・4・6年生の2部制で持久跳びと技跳びをおこないました。持久跳びの結果は以下の通りです。

(30秒1点として16点満点)

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
完跳者	3人	7人	13人	11人	20人	17人
学年平均	5.7点	10.6点	10.1点	10.7点	13.1点	13.6点

技跳びも自己の最高記録を跳べた人が多かったようです。リズムに合わせて手拍子を打ったりかけ声をかけたりして応援する姿がとても印象的な大会でした。



青組全員跳び

昼からは児童会主催の大縄大会でした。1学期の朝運動から色別での8の字跳びの練習をおこなってきました。最初は入れなかった1年生も上級生が入るタイミングを教えたり、できたら褒めて上あげたりしてくれたおかげで、跳べた回数も徐々に上がってきていました。当日はこれに加えて「色班全員跳び」もありました。なかなか全員で練習する時間が無かったのですが、どの色も過去最高の記録を跳んだようでした。

目標に向かって努力し、成果として現れる。また、学級や色毎の一体感を感じることができるこのような教育活動を今後も続けていきたいと思えます。

学校評価について

今年度9月と2月におこないました学校評価の結果を、後日スグールでお知らせします。これをもとに、来年度の学校教育活動の改善に努めて参りたいと思います。保護者の皆様にはご回答いただき、ありがとうございました。

□学校へのご意見・ご要望、児童に関する情報・相談については、遠慮なく学校までご連絡ください。
(学校:52-0254) 学校HP <http://edu.city.obama.fukui.jp/nishizu>

